SGLT2阻害薬の効果

SGLT2阻害薬（あなたの薬に✓）

- ☐ エンパグリフロジン（ジャディアンス®・トラディアンス®配合錠AP/BP）
- ☐ イプラグリフロジン（スーグラ®・スージャヌ®配合錠）
- ☐ カナグリフロジン（カナグル®・カナリア®配合錠）
- ☐ トホグリフロジン（デベルザ®）
- ☐ ルセオグリフロジン（ルセフィ®）
- ☐ ダパグリフロジン（フォシーガ®）
- ☐ （　　）

SGLT2阻害薬にはどんな効果があるの？

- SGLT2阻害薬は主に腎臓に作用します。
- 尿中へ糖を排出し、血糖値を下げます（尿検査で尿糖が陽性になります）。
- 腎臓の負担を軽減し、蛋白尿やアルブミン尿を減らします。
- 服用開始後早期は、尿中のナトリウム排泄増加を伴った利尿作用を示します。
- 上記のほか、様々な働きによって以下の疾患の治療に用いられます。

☐ チェック 糖尿病

- **糖代謝の改善、体重の減少、心血管合併症の抑制などの効果があります。**

☐ チェック 慢性腎臓病

- **初期に一時的に腎機能の低下（eGFR※の低下あるいはクレアチニンの上昇）を認める場合がありますが、長期に継続することで腎機能の低下速度を緩め、透析導入を遅くすることが期待できます。**

※eGFR：推算糸球体濾過量

☐ チェック 慢性心不全

- **心臓の収縮力を保ち、心臓の寿命を延ばします。**
- **腎臓と心臓はお互いに助け合っているため、腎臓の負担を軽くすることで心臓の負担も軽くなります。**

SGLT2阻害薬の服用を続けるにあたって

- 医師の指示に従って長期に継続することで治療効果が期待できます。
- 糖尿病に対してインスリンを使用している患者さんは、自己判断でインスリン注射を中止したり減らしたりしないでください。
- 飲み忘れた場合は、忘れた分は飲まずに翌日にその時飲む1回分を飲んでください。
- SGLT2阻害薬を服用していても、適切な食事療法や運動療法を継続することが重要です。
- 副作用を予防するうえで、こまめな飲水が重要です。

©2023日本腎臓病薬物療法学会